

■活断層（副断層）の確認調査報告会レポート

3月17日ウイング21で、今回の調査に当たった原山教授（信大）から直接お話を伺える報告会が開かれました。

調査した「信州大学山岳科学総合研究所の役割」として次の3点が明示されました。

1. 独立した第三者機関としての、科学的データの提供
2. 建設の適否についての評価機関ではない
3. 判断するのは、あくまでも白馬村など広域連合の皆様

その上で、「活断層より西側（候補地側）に副断層が延びている可能性はほとんど無いと判断される」「神城活断層は、姫川の西側（候補地側）にある事が分かった」「建設は、活断層の真上は論外だが、活断層の距離だけが問題ではなく、地盤、設計などが重要になる」などの説明がありました。「評価機関ではなく判断には関わらない」としながら、そうした発言があったことなど不可解な印象を抱きました。私たちは、この日の説明会を聞いて更に疑問を抱いたことを公開質問状で尋ねる予定です。

活断層の問題については、
本当に建設にふさわしい場所なのか、
ふさわしくない場所なのか。
誰が、何時、どのような過程を経て
判断するのか？
オープンな場で、その議論はなされるのか？
これらに注視して、率直な意見を言っていきましょう。

基礎の費用等は、当初の建設予算に入っていません。
強固な基礎を作るのに莫大な費用が掛かるのでは？
素朴な疑問として、わざわざこんなところに
建てなくても・・・。と思うのですが・・・。

ごみ連協の活動内容 （主な活動・関連記事もあり。19号掲載分以降）

～2008年～

- 2/20 広域連合長と広域連合議会議長に「新ごみ処理施設建設計画の白紙撤回（一時凍結）への理解と、確認調査の分析結果についての要望書」を提出
- 2/22 広域連合議会傍聴
- 2/27 「ごみ問題の今！！～この1年と今後の課題をご一緒に考えませんか？」勉強会の開催
- 3/17 確認調査報告会への参加 *当日の質問など関連記事をHPに公開
(疑問点を「公開質問状」としてまとめ、原山教授に公開質問状を提出しました)